

中国文学専修

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
中国文学概論	中国の小説と戯曲	2	土屋 育子	後期 木曜日 1 講時	
中国文学概論	中国古典詩歌文学史	2	矢田 尚子	前期 木曜日 1 講時	
中国文学基礎講読	中国語実用文法研究	2	土屋 育子	前期 水曜日 4 講時	
中国文学基礎講読	現代文読解による中国語実用文法研究	2	矢田 尚子	後期 水曜日 4 講時	
中国語基礎演習	初級中国語	2	張 佩茹	前期 木曜日 3 講時	
中国語基礎演習	初級中国語	2	張 佩茹	後期 木曜日 3 講時	
中国文学各論	賦とは何か——中国古典文学における 声と文字	2	谷口 洋	後期集中 その他 連講	
中国文学各論	現代中国語の諸相	2	張 佩茹	前期 火曜日 4 講時	
中国文学各論	現代中国語の諸相	2	張 佩茹	後期 火曜日 4 講時	
中国文学演習	中国近世文学研究	2	土屋 育子	前期 水曜日 3 講時	
中国文学演習	中国近世文学研究	2	土屋 育子	後期 水曜日 3 講時	
中国文学演習	楚辞文学研究	2	矢田 尚子	前期 金曜日 2 講時	
中国文学演習	楚辞文学研究	2	矢田 尚子	後期 金曜日 2 講時	
中国語学演習	現代中国語文法研究	2	張 佩茹	前期 木曜日 2 講時	中国文学演習
中国語学演習	現代中国語文法研究	2	張 佩茹	後期 木曜日 2 講時	中国文学演習

科目名：中国文学概論／ Chinese Literature (General Lecture)

曜日・講時：後期 木曜日 1 講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：土屋 育子

コード：LB44101 科目ナンバリング：LHM-LIT202J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国の小説と戯曲

2. Course Title (授業題目)：Chinese Novel and Drama

3. 授業の目的と概要：中国の小説・戯曲は、伝統詩文との関わりを保ちつつ、豊かな発展を遂げてきました。本講義では、「小説」と戯曲の起源を理解し、歴史的社会的背景をもとに中国の小説・戯曲がどのように発展してきたのかを、原文資料をもとに学びます。

授業を通して、受講者の中国の小説と戯曲に対する基礎知識の再確認と理解を深めることを主たる目的とします。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In this course, students will understand the origin of Chinese classical novel and drama, learn about changes Chinese classical novel and drama have undergone, based on historical and social background, using the original text.

The main purpose of this course is to review basic knowledge and understand Chinese classical novel and drama.

5. 学習の到達目標：

(1) 中国文学史(小説・戯曲)について知識を深める。

(2) 中国の小説・戯曲の特徴を多角的に考察し、自分の言葉でまとめられる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：1. Students better understand Chinese literature history (classical novel and drama) .

2. Students consider the features of Chinese classical novel and drama from diversified standpoints, and describe them in their own words.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

資料を用いて、作品の成立までの背景、作者、概要等のポイントを解説し、原文を付した現代日本語訳によって作品を鑑賞します。(以下のトピックは、多少変更する場合があります。)

第1回 ガイダンス

第2回 志怪小説・志人小説

第3回 唐代伝奇(1)

第4回 唐代伝奇(2)

第5回 唐末から宋元への展開

第6回 宋から元の演劇

第7回 元の演劇と明初の短篇文言小説

第8回 『三国志演義』(1)

第9回 『三国志演義』(2)

第10回 『水滸伝』(1)

第11回 『水滸伝』(2)

第12回 『西遊記』

第13回 『金瓶梅』

第14回 三言二拍

第15回 清代の小説・まとめ

8. 成績評価方法：

授業への取り組み(課題提出等)：30%

課題の内容等：70%

9. 教科書および参考書： テキスト：資料配布

参考書：授業中に紹介

10. 授業時間外学習：授業中に紹介する参考書等を積極的に読み、講義内容の理解する参考にしてください。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：中国文学概論／ Chinese Literature (General Lecture)

曜日・講時：前期 木曜日 1 講時

セメスター：3 単位数：2

担当教員：矢田 尚子

コード：LB34101 科目ナンバリング：LHM-LIT202J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国古典詩歌文学史

2. Course Title (授業題目)：History and development of Classical Chinese poetry

3. 授業の目的と概要：【目的】

1. 中国の先秦時代から唐代に到るまでの古典詩を読み、理解を深める。
2. 同時に、いわゆる「漢文」の構造、古体詩と近体詩の違い、近体詩の格律（きまり・法則）など、基本知識をおさえる。

【概要】

中国文学の中でも、特に先秦から唐代までの古典詩歌文学に焦点を絞り、時代・ジャンルごとに重要事項について学習する。実際に代表的な作品を実際に読み、その内容を理解する。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：【Course Objectives】

1. In this course, students read poetry from Pre-Qin to Song dynasty to acquire knowledge of Chinese classical literature.
2. At the same time, students grasp the fundamentals of classical Chinese literature such as the construction of classical Chinese writings, differences between archaic style poetry (Gu ti shi) and new style poetry (Jin ti shi), and their rules.

【Course Synopsis】

This course focus on poetry from Pre-Qin to Song dynasty era. The lecturer explains important issues according to era or genre, students actually read the representative poetry and understand the contents.

5. 学習の到達目標：

- ・中国古典詩歌文学に関する基礎知識を身につける。
- ・中国古典詩歌のジャンルや修辞等の歴史的変遷について理解できるようになる。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：・Students will acquire fundamental knowledge of Chinese classical literature.

- ・Students will be able to understand historical transition of genres or rhetoric of Chinese classical poetry.

7. 授業の内容・方法と進捗予定：

この科目では Classroom を使用して講義資料と講義情報を発信します。

1. イントロダクション
2. 『詩経』(1)
3. 『詩経』(2)
4. 『楚辞』(1)
5. 『楚辞』(2)
6. 漢代の詩
7. 魏晋の詩(1)
8. 魏晋の詩(2)
9. 南北朝の詩(1)
10. 南北朝の詩(2)
11. 初唐の詩
12. 盛唐の詩(1)
13. 盛唐の詩(2)
14. 中唐の詩
15. 晩唐の詩

8. 成績評価方法：

出席状況や課題提出を総合的に評価する。

9. 教科書および参考書：教科書は用いず、毎回配布する資料による。

参考書は、授業中に適宜紹介する。

Materials will be handed out at every class.

References to further readings will be made in classes.

10. 授業時間外学習：授業中に示した参考文献に目を通し、授業で得た知識を補い、作品をより深く広く理解する力をつけること。

Students are required to read the references given in classes to supplement the knowledge and deepen understanding about Chinese classical literature.

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：中国文学基礎講読／ Chinese Literature (Introductory Reading)

曜日・講時：前期 水曜日 4 講時

Semester : 3 単位数 : 2

担当教員：土屋 育子

コード：LB33402 科目ナンバリング：LHM-LIT213J 使用言語：2カ国語以上

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国語実用文法研究

2. Course Title (授業題目) : Chinese Grammar

3. 授業の目的と概要：本講義は、中国語学習歴半年以上の学生が、中国語のリスニング、作文、スピーキングなどの演習を通して、中国語によるコミュニケーション能力・表現能力の向上を目指します。

(中国語を未履修の方は、事前にご相談ください。)

なおこの授業は、講読演習を兼ねています。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : This course aims to improve the students' ability to communicate and express their thoughts in Chinese, through various activities involving exercises in listening, writing, speaking, and so on.

5. 学習の到達目標：

- (1) 現代中国語の文法について基礎的な事項を理解する。
- (2) 基礎的な作文能力をつける。
- (3) 基礎的な読解力を確実なものとする。
- (4) 中国語の発音をブラッシュ・アップする。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : 1. Students understand Chinese basic grammar.

2. Students gain basic writing skills.

3. Students develop basic reading skills.

4. Students brush up basic speaking skills.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

本授業では教科書を使用し、以下のように進めていきます。

受講者には授業後に、課題を提出してもらいます(提出方法は別途指示します)。

第一回 ガイダンス

第二回 発音、文法説明、翻訳、問題演習(1)

第三回 発音、文法説明、翻訳、問題演習(2)

第四回 発音、文法説明、翻訳、問題演習(3)

第五回 発音、文法説明、翻訳、問題演習(4)

第六回 発音、文法説明、翻訳、問題演習(5)

第七回 発音、文法説明、翻訳、問題演習(6)

第八回 前半のまとめと試験

第九回 発音、文法説明、翻訳、問題演習(7)

第十回 発音、文法説明、翻訳、問題演習(8)

第十一回 発音、文法説明、翻訳、問題演習(9)

第十二回 発音、文法説明、翻訳、問題演習(10)

第十三回 発音、文法説明、翻訳、問題演習(11)

第十四回 発音、文法説明、翻訳、問題演習(12)

第十五回 後半のまとめと試験

8. 成績評価方法：

授業への取り組み、出席：50%

定期試験：50%

9. 教科書および参考書：教科書：李貞愛『日中ふれあい“漢語”教室』朝日出版社

辞書：小学館『中日辞典』『日中辞典』、または、講談社『中日辞典』『日中辞典』などを用意してください。

10. 授業時間外学習：毎回、辞書を用いた予習・復習を求めます。

11. 実務・実践的授業/Practical business：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：中国文学基礎講読／ Chinese Literature (Introductory Reading)

曜日・講時：後期 水曜日 4 講時

Semester : 4 単位数 : 2

担当教員：矢田 尚子

コード：LB43402 科目ナンバリング：LHM-LIT213J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：現代文読解による中国語実用文法研究

2. Course Title (授業題目) : Study of Chinese Grammar through reading Chinese Contemporary Prose

3. 授業の目的と概要：【目的】中国語学習歴 1 年以上の受講生を対象に、中国語のより高度な読解能力を身につけてもらうことを目的として開講します。

【概要】現代中国語で書かれた随筆や短編小説を取り上げて精読します。それを通して、受講生が、これまでに学んできた中国語の基礎的な文法事項について再確認し、中国文化への理解を深めるとともに、中国語発音のブラッシュアップができるよう促します。授業ではテキストを輪番で音読し、読解しますので、受講生の十分な予習が求められます。なお、この授業は、中国語の講読演習を兼ねています。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：【Course Objectives】

This course aims to further improve the students' ability to read contemporary Chinese texts.

【Course Synopsis】

In this course, students read essays or short stories written in modern Chinese. Through reading, students review basic Chinese grammar, deepen knowledge about Chinese culture, and improve Chinese pronunciation. In every class, students are required to read aloud and translate the text into Japanese, therefore sufficient preparation is important.

5. 学習の到達目標：

①現代中国語で書かれた随筆文や短編小説を、辞書を使いながら読んで理解し、適切な日本語に訳すことができる。

②現代中国語の文法についての高度な知識を習得し、文章の文構造を把握できる。

③現代中国語で書かれた文章を正しい発音で音読することができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：①Students will be able to read essays or short stories written in modern Chinese and translate them in accurate Japanese by using dictionary.

②Students will acquire further knowledge about Chinese grammar, and be able to grasp the grammatical constructions of Chinese texts.

③Students will pronounce Chinese texts correctly.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス

2. 中国現代文読解 (1)

3. 中国現代文読解 (2)

4. 中国現代文読解 (3)

5. 中国現代文読解 (4)

6. 中国現代文読解 (5)

7. 中国現代文読解 (6)

8. 中国現代文読解 (7)

9. 中国現代文読解 (8)

10. 中国現代文読解 (9)

11. 中国現代文読解 (10)

12. 中国現代文読解 (11)

13. 中国現代文読解 (12)

14. 中国現代文読解 (13)

15. 中国現代文読解 (14)

8. 成績評価方法：

授業参加態度 (発音・翻訳・応答などを含む) により総合的に判断する。

9. 教科書および参考書： 教材は授業開始時に配布する。

The materials will be handed out at the beginning of the course.

10. 授業時間外学習：予習：単語の発音や意味を調べ、文構造や文法事項に留意しながら訳文を作成する。

復習：主要な単語や文を暗記し、文構造を正しく理解できるようにする。

Preparation: Students are required to look up pronunciation and meaning of words in dictionary, translate the texts into Japanese with careful attention to grammatical constructions.

Review: Students are required to memorize important words and sentences and understand grammatical construction of texts.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

12. その他：

科目名：中国語基礎演習／ Chinese Literature (Introductory Seminar)

曜日・講時：前期 木曜日 3講時

Semester：3 単位数：2

担当教員：張 佩茹

コード：LB34301 科目ナンバリング：LHM-LIT214J 使用言語：2カ国語以上

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：初級中国語

2. Course Title (授業題目)：Mandarin Chinese for Beginners

3. 授業の目的と概要：この授業は初心者を対象とするもので、中国語の基礎となる発音と文法事項を一通り学び、今後の勉学の土台作りをしておくことを目的とする。まず、中国語の発音と表記法（ピンイン）を習得する。発音練習を繰り返すことによって、記号と実際の発音との結びつきを定着させる。次に、学生生活にまつわる日常的なコミュニケーションに役立つ基礎単語や文法事項を学習していく。この授業を通じて、語学の学習とともに、日中の文化や習慣の違いに対して理解を深めることができる。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is designed for students who learn Mandarin Chinese for the first time. It covers pronunciation and basic grammar of Mandarin Chinese, which will serve as a foundation for further learning. First of all, students learn how to pronounce Mandarin Chinese by using the transcription system known as Pinyin. By repeating the pronunciation, students learn to recognize the relation between sounds and the alphabets used in the Pinyin system. After that, students learn basic vocabulary words and grammar that are related to their student life. Also, this course aims to help students to get a better understanding of the differences in culture and customs between Japan and China.

5. 学習の到達目標：

1. 中国語の発音を弁別でき、ピンインの表記を熟知すること。

2. 中国の基礎単語および基礎文法を身につけて、簡単な日常会話ができること。

3. 中国語を使う人々の文化や考え方に興味を持ち、よりよく理解できるようになること。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：(1) Students will be able to differentiate various sounds in Mandarin Chinese and familiarize themselves with the Pinyin system. (2) Students will learn the basic vocabulary words and grammar and be able to carry out simple daily conversations. (3) Students will develop an interest in the culture and thoughts of the people speaking Mandarin Chinese and have a better understanding of them.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

<授業内容・方法>

テキストの会話文を使い、置き換え練習やロールプレイを通じて学習内容の定着を図る。

<進度予定>

第1回 オリエンテーション

第2回 発音(1)

第3回 発音(2)

第4回 第1課 何を食べるの？

第5回 第2課 それって中国語の新聞？

第6回 復習(1)

第7回 第3課 かわいい！

第8回 第4課 何人家族？

第9回 復習(2)

第10回 第5課 家はどこ？

第11回 第6課 ごはん食べた？

第12回 復習(3)

第13回 第7課 1枚あげるよ

第14回 第8課 ちょっと見せて

第15回 期末まとめ

8. 成績評価方法：

平常点：60% (授業態度、小テストなど)

期末試験：40% (口頭および筆記)

9. 教科書および参考書：<教科書>『しっかり初級中国語』石田友美・桑野弘美・島田亜実・鈴木ひろみ著、白水社、2016年

<参考書>『やさしくくわしい中国語文法の基礎 改訂新版』、守屋 宏則ら著、東方書店、2019年

10. 授業時間外学習：予習：事前に内容を確認し、例文や本文の意味を訳しておく。

復習：学習した部分を読み返し、理解できたかを確認する。また、音声 that 正確に聞き取れるまで、CDを繰り返し聞くこと。また、音読の練習も3回以上すること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

12. その他：成績評価における平常点の割合が高いため、普段の授業時に積極的な授業態度が求められる。

科目名：中国語基礎演習／ Chinese Literature (Introductory Seminar)

曜日・講時：後期 木曜日 3講時

セメスター：4 単位数：2

担当教員：張 佩茹

コード：LB44301 科目ナンバリング：LHM-LIT214J 使用言語：2カ国語以上

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：初級中国語

2. Course Title (授業題目)：Mandarin Chinese for Beginners

3. 授業の目的と概要：この授業は初心者を対象とするもので、中国語の基礎となる発音と文法事項を一通り学び、今後の勉学の土台作りをしておくことを目的とする。まず、中国語の発音と表記法（ピンイン）を習得する。発音練習を繰り返すことによって、記号と実際の発音との結びつきを定着させる。次に、学生生活にまつわる日常的なコミュニケーションに役立つ基礎単語や文法事項を学習していく。この授業を通じて、語学の学習とともに、日中の文化や習慣の違いに対して理解を深めることができる。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is designed for students who learn Mandarin Chinese for the first time. It covers pronunciation and basic grammar of Mandarin Chinese, which will serve as a foundation for further learning. First of all, students learn how to pronounce Mandarin Chinese by using the transcription system known as Pinyin. By repeating the pronunciation, students learn to recognize the relation between sounds and the alphabets used in the Pinyin system. After that, students learn basic vocabulary words and grammar that are related to their student life. Also, this course aims to help students to get a better understanding of the differences in culture and customs between Japan and China.

5. 学習の到達目標：

1. 中国の基礎単語および基礎文法を身につけて、簡単な日常会話ができること。
 2. 中国語を使う人々の文化や考え方に興味を持ち、よりよく理解できるようになること。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：(1) Students will learn the basic vocabulary words and grammar and be able to carry out simple daily conversations. (2) Students will develop an interest in the culture and thoughts of the people speaking Mandarin Chinese and have a better understanding of them.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

＜授業内容・方法＞

テキストの会話文を使い、置き換え練習やロールプレイを通じて学習内容の定着を図る。

＜進度予定＞

- 第1回 発音と文法の復習
- 第2回 第9課 中国語話せるよ
- 第3回 第10課 まだ食事中？
- 第4回 復習(1)
- 第5回 第11課 心配しないで
- 第6回 第12課 両親が帰ってくるようになって
- 第7回 復習(2)
- 第8回 ステップアップ1 どうやって解いたらいい？
- 第9回 ステップアップ2 起こされちゃった
- 第10回 復習(3)
- 第11回 ステップアップ3 出かけるんじゃなかったの？
- 第12回 ステップアップ4 全然知らなかった
- 第13回 復習(4)
- 第14回 音読練習
- 第15回 期末まとめ

8. 成績評価方法：

平常点：60% (授業態度、小テストなど)

期末試験：40% (口頭および筆記)

9. 教科書および参考書：教科書：『しっかり初級中国語』石田友美・桑野弘美・島田亜実・鈴木ひろみ著、白水社、2016年
参考書：『やさしくくわしい中国語文法の基礎 改訂新版』、守屋 宏則ら著、東方書店、2019年

10. 授業時間外学習：予習：事前に内容を確認し、例文や本文の意味を訳しておく。

復習：学習した部分を読み返し、理解できたかを確認する。また、音声が正確に聞き取れるまで、CDを繰り返し聞くこと。また、音読の練習も3回以上すること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practical business

12. その他：成績評価における平常点の割合が高いため、普段の授業時に積極的な授業態度が求められる。

科目名：中国文学各論／ Chinese Literature (Special Lecture)

曜日・講時：後期集中 その他 連講

セメスター：6 単位数：2

担当教員：谷口 洋

コード：LB98808 科目ナンバリング：LHM-LIT303J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：賦とは何か——中国古典文学における声と文字

2. Course Title (授業題目)：What is Fu?: Voice and Letters in Classical Chinese Literature

3. 授業の目的と概要： 賦は、中国古典文学の文体の一つであるが、韻文を基調としつつも、詩よりずっと自由であり、散文の性質をも併せ持つ。西洋の叙事詩や、万葉の長歌にも比べられるが、古代に普遍的な声の文化の基盤をそれらと共有する一方、漢字の特性を発揮した文字の文学としても展開した。ここでは、賦の文学を俯瞰して、その独自性について理解を深めるとともに、文学における声と文字という普遍的な問題についても考えてみたい。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)： Fu, also called "rhyme prose", is a genre of classical Chinese literature, which has both elements of poem and prose. While it shares the foundation of the universal voice culture of ancient times, it has also developed as a literary form that demonstrates the characteristics of Chinese characters. This course introduces various fu literature so that students can understand its uniqueness, as well as consider the universal issue of voice and letters in literature.

5. 学習の到達目標：

賦の文学にふれ、その特性について知る。

文学における声と文字の関係について考察を深める。

6. Learning Goals (学修の到達目標)： Students learn about fu literature and its characteristics.

Students deepen consideration of the relationship between voice and letters in literature.

7. 授業の内容・方法と進捗予定：

以下のようなトピックを考えている。履修者の属性や関心によって、重点の置き方や取りあげる順序を変更することがある。

・ガイダンス

・賦のいろいろ (1)：屈原「離騷」

・賦のいろいろ (2)：司馬相如「子虚賦」

・賦のいろいろ (3)：陶淵明「帰去来辞」

・賦のいろいろ (4)：蘇軾「赤壁賦」

・賦は詩なのか文なのか

・賦と叙事詩

・賦と長歌

・賦の起源に関する諸説

・賦と古代呪術：「高きに登りて能く賦す」

・賦の文学としての成立：呪術から文学へ

・賦の二面性：王権の文学と「私」の文学

・賦の二重性：声の文学と文字の文学

・文学の枠を超えて：伝承ツールとしての賦

・まとめ

8. 成績評価方法：

レポート

9. 教科書および参考書： 日本語でまとまったものとしては、鈴木虎雄『賦史大要』があるが、古い上に簡略にすぎる。資料は担当者が準備するほか、必要に応じて関連する文献を授業で紹介する。

10. 授業時間外学習： 配付された資料にあらかじめ目を通しておくこと。

賦は長編が多く、授業ではさわりしか紹介できないから、邦訳のあるものは各自で全体を見ておいてほしい。

担当を決めて、受講者に調査を求めることがあるかもしれない。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他： 10月中旬に集中講義を予定しているが、状況がなお流動的であるため、具体的な開講日程と授業形式は追って通知する。いずれにせよ、第1回のみはオンデマンド方式で学期始めにあらかじめ配信し、履修登録の参考にってもらうことを考えている。

科目名：中国文学各論／ Chinese Literature (Special Lecture)

曜日・講時：前期 火曜日 4 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：張 佩茹

コード：LB52402 科目ナンバリング：LHM-LIT303J 使用言語：2カ国語以上

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：現代中国語の諸相

2. Course Title (授業題目)：Various Aspects of Modern Mandarin Chinese

3. 授業の目的と概要：言語学の観点から現代中国語がどういう言語であるかについて知識を深め、基礎的な研究能力の養成を目的とする。中級レベルの学習者向けに書いた文法解説書の内容に基づいて、中国語学における重要な概念や構文への理解を深める。さらに、授業内の発表を通して、中国語学に関する問題意識の置き方や研究手法について学習する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course aims to improve students' understanding of modern Mandarin Chinese from a linguistic perspective and enable them to acquire essential research skills. Based on reading a grammar reference book written for intermediate learners, students learn about the essential concepts and structures in Mandarin Chinese. Also, students learn how to ask a research question and the possible ways of research in Chinese linguistics through practices of oral presentation in class.

5. 学習の到達目標：

①中国語学における重要な概念を理解し、説明することができる。

②中国語学に関する問題点を発掘する力を身につける。

③関心のあるテーマについて先行研究を調べる力を身につける。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：①Students will understand the essential concepts in Chinese linguistics and know how to explain them appropriately.

②Students will develop the ability to notice possible research questions about Chinese.

③Students will acquire the ability to search for appropriate reference materials on a particular topic which he/she concerns.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

<授業内容・方法> 輪読形式で、担当者が関連資料を調べてレジュメを作成し、発表する。

<進度予定>

第1回 ガイダンス

第2回 語の種類①：品詞を決める基準

第3回 語の種類②：品詞の兼類

第4回 名詞

第5回 量詞

第6回 代名詞

第7回 動詞①：動詞の分類

第8回 動詞②：特殊な動詞

第9回 形容詞①：性質と状態

第10回 形容詞②：区別詞

第11回 フレーズ①：フレーズの種類

第12回 フレーズ②：様々なフレーズ

第13回 フレーズ③：連体と連用

第14回 フレーズ④：連動フレーズ

第15回 期末まとめ

8. 成績評価方法：

授業への取り組み：50%

発表：50%

9. 教科書および参考書：<教科書>『中級中国語 読みとく文法』三宅登之、白水社、2012年

<参考書>『文法講義』朱德熙 著、杉村博文・木村英樹 訳、白帝社、1995年

10. 授業時間外学習：予習：テキストの指定箇所を読んだうえ、問題点を整理する。

復習：テキストや関連資料を読み返し、正確に理解できたかを確認する。興味関心のある文法現象について考える。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：中国文学各論／ Chinese Literature (Special Lecture)

曜日・講時：後期 火曜日 4 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：張 佩茹

コード：LB62402 科目ナンバリング：LHM-LIT303J 使用言語：2カ国語以上

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：現代中国語の諸相

2. Course Title (授業題目) : Various Aspects of Modern Mandarin Chinese

3. 授業の目的と概要：言語学の観点から現代中国語がどのような言語であるかについて知識を深め、基礎的な研究能力の養成を目的とする。中級レベルの学習者向けに書いた文法解説書の内容に基づいて、中国語学における重要な概念や構文への理解を深める。さらに、授業内の発表を通して、中国語学に関する問題意識の置き方や研究手法について学習する。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : This course aims to improve students' understanding of modern Mandarin Chinese from a linguistic perspective and enable them to acquire essential research skills. Based on reading a grammar reference book written for intermediate learners, students learn about the essential concepts and structures in Mandarin Chinese. Also, students learn how to ask a research question and the possible ways of research in Chinese linguistics through practices of oral presentation in class.

5. 学習の到達目標：

①中国語学における重要な概念を理解し、説明することができる。

②中国語学に関する問題点を発掘する力を身につける。

③関心のあるテーマについて先行研究を調べる力を身につける。

6. Learning Goals (学修の到達目標) : ①Students will understand the essential concepts in Chinese linguistics and know how to explain them appropriately.

②Students will develop the ability to notice possible research questions about Chinese.

③Students will acquire the ability to search for appropriate reference materials on a particular topic which he/she concerns.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

<授業内容・方法> 輪読形式で、担当者が関連資料を調べてレジュメを作成し、発表する。

<進度予定>

第1回 ガイダンス

第2回 結果補語

第3回 方向補語

第4回 可能補語

第5回 様態補語

第6回 文の分類

第7回 疑問文、反語文

第8回 「了」①：アスペクト助詞

第9回 「了」②：語気助詞

第10回 「着」、「過」

第11回 使役構文

第12回 受身構文

第13回 「把」構文

第14回 存現文、取り立て構文

第15回 期末まとめ

8. 成績評価方法：

授業への取り組み：50%

発表：50%

9. 教科書および参考書： <教科書> 『中級中国語 読みとく文法』三宅登之、白水社、2012年

<参考書> 『文法講義』朱德熙 著、杉村博文・木村英樹 訳、白帝社、1995年

10. 授業時間外学習：予習：テキストの指定箇所を読んだうえ、問題点を整理する。

復習：テキストや関連資料を読み返し、正確に理解できたかを確認する。興味関心のある文法現象について考える。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：中国文学演習／ Chinese Literature (Seminar)

曜日・講時：前期 水曜日 3 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：土屋 育子

コード：LB53305 科目ナンバリング：LHM-LIT318J 使用言語：2カ国語以上

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国近世文学研究

2. Course Title (授業題目)：Chinese Classical Literature

3. 授業の目的と概要：本授業では、中国の伝統的な注釈方法に基づいて、中国古典文学の作品を読解します。中国古典文学の作品読解を通して、基礎的な知識を学ぶとともに、原文の読解力と分析し鑑賞する力の習得を目指します。出席者は事前に予習を行うこととし、授業では発表と質疑応答によって進めます。今学期は、文言小説の『剪灯新話』に収められる作品を取り上げます。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course is designed to help students understand the fundamental knowledge about Chinese classical literature, gain reading ability, analysis ability, through reading Chinese classical literature.

This course is centered on a presentation and a questions and answers session.

In this semester class, students read “Jian Deng Xin Hua”.

5. 学習の到達目標：

- (1) 中国古典文の読解力を向上させる。
- (2) 中国の文学作品について、分析し鑑賞する力を習得する。
- (3) 辞書やデータベース等の活用と、原典（影印本・標点本等）に習熟する。
- (4) 歴史的背景を踏まえ、中国の文学作品がどのように変化したかを理解する。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：1. Students improve Chinese classical literature reading skill.

2. Students gain the perspective needed to analyze Chinese classical literature.

3. Students gain the skills of using dictionaries, databases and original books and so on.

4. Students understand changes Chinese classical literature has undergone, based on historical background.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

内容及び進度予定は以下のとおりです。

1. インTRODakション
2. 作者と作品について
3. 発表と質疑応答 (1)
4. 発表と質疑応答 (2)
5. 発表と質疑応答 (3)
6. 発表と質疑応答 (4)
7. 発表と質疑応答 (5)
8. 発表と質疑応答 (6)
9. 発表と質疑応答 (7)
10. 発表と質疑応答 (8)
11. 発表と質疑応答 (9)
12. 発表と質疑応答 (10)
13. 発表と質疑応答 (11)
14. 発表と質疑応答 (12)
15. 発表と質疑応答 (13)

8. 成績評価方法：

授業への取り組み：50%

発表（資料作成を含む）：50%

9. 教科書および参考書：テキスト・資料等は、Google Classroom より配布予定。

参考文献等は授業中に指示。

10. 授業時間外学習：辞書を用いて、予習・復習をしてください。

原文の語彙について語釈を調べるだけでなく、前後の文脈も考慮した丁寧な読解をこころがけましょう。

11. 実務・実践的授業/Practical business：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: “○” Indicates the practical business

12. その他：

科目名：中国文学演習／ Chinese Literature (Seminar)

曜日・講時：後期 水曜日 3講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：土屋 育子

コード：LB63306 科目ナンバリング：LHM-LIT318J 使用言語：2カ国語以上

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国近世文学研究

2. Course Title (授業題目)：Chinese Classical Literature

3. 授業の目的と概要：本授業では、中国の伝統的な注釈方法に基づいて、中国古典文学の作品を読解します。中国古典文学の作品読解を通して、基礎的な知識を学ぶとともに、原文の読解力と分析し鑑賞する力の習得を目指します。出席者は事前に予習を行うこととし、授業では出席者による発表と質疑応答によって進めます。今学期は、文言小説の『聊斎志異』に収められる作品を取り上げます。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course is designed to help students understand the fundamental knowledge about Chinese classical literature, gain reading ability, analysis ability, through reading Chinese classical literature.

This course is centered on a presentation and a questions and answers session.

In this semester class, students read "Liao Zhai Zhi Yi".

5. 学習の到達目標：

- (1) 中国古典文（文言と白話）の読解力を向上させる。
- (2) 白話文学作品について、分析し鑑賞する力を習得する。
- (3) 辞書やデータベース等の活用と、原典（影印本・標点本等）に習熟する。
- (4) 歴史的背景を踏まえ、白話文学作品がどのように変化したかを理解する。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：1. Students improve Chinese popular literature reading skill.

2. Students gain the perspective needed to review

3. Students gain the skills of using dictionaries, databases and original books and so on.

4. Students understand changes Chinese popular literature has undergone, based on historical background.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

内容及び進度予定は以下のとおりです。

1. イン트로ダクション
2. 作者と作品について
3. 発表と質疑応答 (1)
4. 発表と質疑応答 (2)
5. 発表と質疑応答 (3)
6. 発表と質疑応答 (4)
7. 発表と質疑応答 (5)
8. 発表と質疑応答 (6)
9. 発表と質疑応答 (7)
10. 発表と質疑応答 (8)
11. 発表と質疑応答 (9)
12. 発表と質疑応答 (10)
13. 発表と質疑応答 (11)
14. 発表と質疑応答 (12)
15. 発表と質疑応答 (13)

8. 成績評価方法：

授業への取り組み：50%

発表（資料の作成も含む）：50%

9. 教科書および参考書： テキスト・資料等は、Google Classroomより配布予定。

参考文献等は授業中に指示。

10. 授業時間外学習：辞書を用いて、予習・復習をしてください。

原文の語彙について語釈を調べるだけでなく、前後の文脈も考慮した丁寧な読解をこころがけましょう。

11. 実務・実践的授業/Practical business：○

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：

科目名：中国文学演習／ Chinese Literature (Seminar)

曜日・講時：前期 金曜日 2 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：矢田 尚子

コード：LB55204 科目ナンバリング：LHM-LIT318J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：楚辞文学研究

2. Course Title (授業題目) : Literary Study of Chu Ci

3. 授業の目的と概要：【目的】古典詩文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】中国詩歌文学の源流の一つである韻文学作品集『楚辞』の代表的な作品である「離騷」を読解します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について質問・意見を出し、双方の議論を通して、テキストに対する理解を深めていきます。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : 【Course Objectives】 This course aims to improve the students' ability to read texts of Chinese classical writings in a basic and traditional way, and to collate texts, which are necessary to study classical Chinese literature.

【Course Synopsis】 Chu Ci is an anthology of Chinese poetry, which is one of the origins of Chinese verse literature. In this course, we interpret Li sao, a representative piece of Chu Ci. The course is centered on students' presentations and question and answer sessions. In every class, presenters are required to prepare handout for the assigned part of the text, and other students are required to ask questions on and to comment on the presentation. Through discussions, students will reach deeper understanding of the text.

5. 学習の到達目標：

①中国古典詩文を読む際に必要な基礎的な事柄を理解する。

②わかりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。

③レジュメや発表の内容を理解して問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : ①Students will be able to understand the basic issues necessary to read Chinese classical texts.

②Students will be able to make intelligible handout for their presentations, and to explain the contents precisely.

③Students will be able to clarify problems of handout and presentation, and to ask questions on and to comment on handout and presentation actively.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス

2. 『楚辞』について(1)

3. 『楚辞』について(2)

4. 『楚辞』「離騷」の読解(1)

5. 『楚辞』「離騷」の読解(2)

6. 『楚辞』「離騷」の読解(3)

7. 『楚辞』「離騷」の読解(4)

8. 『楚辞』「離騷」の読解(5)

9. 『楚辞』「離騷」の読解(6)

10. 『楚辞』「離騷」の読解(7)

11. 『楚辞』「離騷」の読解(8)

12. 『楚辞』「離騷」の読解(9)

13. 『楚辞』「離騷」の読解(10)

14. 『楚辞』「離騷」の読解(11)

15. 『楚辞』「離騷」の読解(12)

8. 成績評価方法：

授業参加態度 50%、発表内容 50%

9. 教科書および参考書： 教材は授業開始時に配布する。

Materials will be handed out at the beginning of the course.

10. 授業時間外学習：予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、問題点を発見すること。

Preparation:Presenters are required to read the assigned part of the text and materials closely and to prepare handout. Other students are required to read the text, the handout and materials carefully and to find out problems.

復習：担当者は、授業中の議論を通して明確になった点を反映させてレジュメに修正を加えること。担当者以外の受講者は、授業中の議論によって得られた知見を自身の担当時に応用できるように理解を深めておくこと。

Review:Presenters are required to make corrections to the handout by reflecting issues clarified through the discussion in the class. Other students are required to deepen the knowledge obtained through the discussion in

the class, and to be able to apply them to their own presentations.

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness:

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

1 2. その他:

科目名：中国文学演習／ Chinese Literature (Seminar)

曜日・講時：後期 金曜日 2 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：矢田 尚子

コード：LB65202 科目ナンバリング：LHM-LIT318J 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：楚辞文学研究

2. Course Title (授業題目) : Literary Study of Chu Ci

3. 授業の目的と概要：【目的】古典詩文の基礎的・伝統的な読解方法、テキストの校勘方法など、中国古典文学を研究していく上で必要なスキルを習得することを目的とします。

【概要】中国詩歌文学の源流の一つである韻文学作品集『楚辞』の代表的な作品である「離騷」を読解します。授業は、受講者の発表と質疑応答を中心に進めていきます。担当者は、テキストおよび関係資料を精査してレジュメを作成し、それをもとに口頭で発表をおこないます。担当者以外の受講者は、レジュメや口頭発表の内容について質問・意見を出し、双方の議論を通して、テキストに対する理解を深めていきます。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : 【Course Objectives】 This course aims to improve the students' ability to read texts of Chinese classical writings in a basic and traditional way, and to collate texts, which are necessary to study classical Chinese literature.

【Course Synopsis】 Chu Ci is an anthology of Chinese poetry, which is one of the origins of Chinese verse literature. In this course, we interpret Li sao, a representative piece of Chu Ci. The course is centered on students' presentations and question and answer sessions. In every class, presenters are required to prepare handout for the assigned part of the text, and other students are required to ask questions on and to comment on the presentation. Through discussions, students will reach deeper understanding of the text.

5. 学習の到達目標：

①中国古典詩文を読む際に必要な基礎的な事柄を理解する。

②わかりやすいレジュメを作成し、内容が的確に伝わるように口頭で説明することができる。

③レジュメや発表の内容を理解して問題点を明確にし、積極的に質問や意見を出すことができる。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : ①Students will be able to understand the basic issues necessary to read Chinese classical texts.

②Students will be able to make intelligible handout for their presentations, and to explain the contents precisely.

③Students will be able to clarify problems of handout and presentation, and to ask questions on and to comment on handout and presentation actively.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンス

2. 『楚辞』について(1)

3. 『楚辞』について(2)

4. 『楚辞』「離騷」の読解(1)

5. 『楚辞』「離騷」の読解(2)

6. 『楚辞』「離騷」の読解(3)

7. 『楚辞』「離騷」の読解(4)

8. 『楚辞』「離騷」の読解(5)

9. 『楚辞』「離騷」の読解(6)

10. 『楚辞』「離騷」の読解(7)

11. 『楚辞』「離騷」の読解(8)

12. 『楚辞』「離騷」の読解(9)

13. 『楚辞』「離騷」の読解(10)

14. 『楚辞』「離騷」の読解(11)

15. 『楚辞』「離騷」の読解(12)

8. 成績評価方法：

授業参加態度 50%、発表内容 50%

9. 教科書および参考書： 教材は授業開始時に配布する。

Materials will be handed out at the beginning of the course.

10. 授業時間外学習：予習：担当者は、テキストの担当箇所および関連書籍を精査してレジュメを作成するとともに、質疑応答に備えること。担当者以外の受講者は、テキストとレジュメを熟読し、関連書籍にも目を通して、問題点を発見すること。

Preparation:Presenters are required to read the assigned part of the text and materials closely and to prepare handout. Other students are required to read the text, the handout and materials carefully and to find out problems.

復習：担当者は、授業中の議論を通して明確になった点を反映させてレジュメに修正を加えること。担当者以外の受講者は、授業中の議論によって得られた知見を自身の担当時に応用できるように理解を深めておくこと。

Review:Presenters are required to make corrections to the handout by reflecting issues clarified through the discussion in the class. Other students are required to deepen the knowledge obtained through the discussion in

the class, and to be able to apply them to their own presentations.

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness:

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

1 2. その他:

科目名：中国語学演習／

曜日・講時：前期 木曜日 2 講時

セメスター：5 単位数：2

担当教員：張 佩茹

コード：LB54204 科目ナンバリング：LHM-PHI338J 使用言語：2カ国語以上

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：中国文学演習】

1. 授業題目：現代中国語文法研究

2. Course Title (授業題目)：Modern Mandarin Chinese Linguistics

3. 授業の目的と概要：中国語で書かれた現代中国語文法を扱った論文を精読し、中国語を読む能力と現代中国語に関する文法問題を考える能力の養成を目的とする。本年度は主にフレーズと意味の関係について論文を読み、理解を深める。また、論文に関連する文法現象のなかで、受講生が各自テーマを絞って発表し、最後にレポートとしてまとめる。全体を通して、現代中国語文法に関する知識を深め、基本的な研究手法を習得する。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course aims to improve students' ability in reading Chinese and approaching linguistic research questions about modern Mandarin Chinese. We will be reading journal articles on the relationship of phrase and meaning mainly this academic year. Also, students are required to find a certain topic related to the articles we read in class, prepare an oral presentation on this topic and write a report accordingly in the end of the semester. In the end of this course, students will gain knowledge about modern Chinese linguistics and learn how to apply basic research techniques when writing a report.

5. 学習の到達目標：

①現代中国語文法における重要な概念を理解し、説明することができる。

②現代中国語文法に関する問題点を発掘する力を身につける。

③関心のあるテーマについて学術的なレポートを作成する力を身につける。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：①Students will understand the essential concepts in modern Mandarin Chinese linguistics and know how to explain them appropriately.

②Students will develop the ability to notice possible research questions about modern Mandarin Chinese.

③Students will acquire the ability to write an academic report on a particular topic which he/she concerns.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回 ガイダンス

第2回 中国語の特徴

第3回 “的”の有無による用法の違い—精読(1)

第4回 “的”の有無による用法の違い—精読(2)

第5回 “的”の有無による用法の違い—分析(1)

第6回 “的”の有無による用法の違い—分析(2)

第7回 動詞性重複構造—精読(1)

第8回 動詞性重複構造—精読(2)

第9回 動詞性重複構造—分析(1)

第10回 動詞性重複構造—分析(2)

第11回 可能補語の意味分析—精読(1)

第12回 可能補語の意味分析—精読(2)

第13回 可能補語の意味分析—分析(1)

第14回 可能補語の意味分析—分析(2)

第15回 期末まとめ

8. 成績評価方法：

授業への取り組み、授業内発表：50%

期末レポート：50%

9. 教科書および参考書： <教科書>プリント配布

<参考書>『文法講義』朱德熙 著、杉村博文・木村英樹 訳、白帝社、1995年

10. 授業時間外学習：予習：事前にテキストの指定箇所を読んだうえ、和訳を考え、さらに問題点を整理する。

復習：テキストや関連資料を読み返し、正確に理解できたかを確認する。興味関心のある文法現象について考える。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicates the practical business

12. その他：

科目名：中国語学演習／

曜日・講時：後期 木曜日 2 講時

セメスター：6 単位数：2

担当教員：張 佩茹

コード：LB64203 科目ナンバリング：LHM-PHI338J 使用言語：2カ国語以上

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：中国文学演習】

1. 授業題目：現代中国語文法研究

2. Course Title (授業題目)：Modern Mandarin Chinese Linguistics

3. 授業の目的と概要：中国語で書かれた現代中国語文法を扱った論文を精読し、中国語を読む能力と現代中国語に関する文法問題を考える能力の養成を目的とする。本年度は主にフレーズと意味の関係について論文を読み、理解を深める。また、論文に関連する文法現象のなかで、受講生が各自テーマを絞って発表し、最後にレポートとしてまとめる。全体を通して、現代中国語文法に関する知識を深め、基本的な研究手法を習得する。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course aims to improve students' ability in reading Chinese and approaching linguistic research questions about modern Mandarin Chinese. We will be reading journal articles on the relationship of phrase and meaning mainly this academic year. Also, students are required to find a certain topic related to the articles we read in class, prepare an oral presentation on this topic and write a report accordingly in the end of the semester. In the end of this course, students will gain knowledge about modern Chinese linguistics and learn how to apply basic research techniques when writing a report.

5. 学習の到達目標：

①現代中国語文法における重要な概念を理解し、説明することができる。

②現代中国語文法に関する問題点を発掘する力を身につける。

③関心のあるテーマについて学術的なレポートを作成する力を身につける。

6. Learning Goals (学修の到達目標)：①Students will understand the essential concepts in modern Mandarin Chinese linguistics and know how to explain them appropriately.

②Students will develop the ability to notice possible research questions about modern Mandarin Chinese.

③Students will acquire the ability to write an academic report on a particular topic which he/she concerns.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

第1回 ガイダンス

第2回 前期の内容の復習

第3回 姿勢動詞—精読(1)

第4回 姿勢動詞—精読(2)

第5回 姿勢動詞—分析(1)

第6回 姿勢動詞—分析(2)

第7回 目的語の性質—精読(1)

第8回 目的語の性質—精読(2)

第9回 目的語の性質—分析(1)

第10回 目的語の性質—分析(2)

第11回 受身表現—精読(1)

第12回 受身表現—精読(2)

第13回 受身表現—分析(1)

第14回 受身表現—分析(2)

第15回 期末まとめ

8. 成績評価方法：

授業への取り組み、授業内発表：50%

期末レポート：50%

9. 教科書および参考書： <教科書>プリント配布

<参考書>『文法講義』朱德熙 著、杉村博文・木村英樹 訳、白帝社、1995年

10. 授業時間外学習：予習：事前にテキストの指定箇所を読んだうえ、和訳を考え、さらに問題点を整理する。

復習：テキストや関連資料を読み返し、正確に理解できたかを確認する。興味関心のある文法現象について考える。

11. 実務・実践的授業/Practical business：

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

12. その他：